

オリコン 2012年上半期音楽ソフト市場レポート

集計対象期間：2012年1月2日～2012年7月1日（2012/1/16付～2012/7/9付）

※売上金額は、推定売上枚数に定価・希望小売価格（税込）を乗じて算出。原則として特販商品、輸入商品等は含まず

1. 概況

- 音楽ソフト総売上額1,564.2億円、対前年同期比101.0%と4年ぶりの前年比増
- シングル、音楽ブルーレイの前年比大幅増が貢献
- シングルは2年連続の前年比増、市場全体規模調査開始（2004年）以来では最高のシングル上半期実績に

CDなどのパッケージ商品によるシングルやアルバムに、音楽DVD・音楽Blu-ray Discを加え総合計した音楽ソフト市場の、2012年上半期総売上額は1,564.2億円となった。対前年同期比101.0%と若干ながらも前年比増となっており、音楽ソフト市場の前年比増は、上半期としては4年ぶりとなる。市場のメインであるアルバムは前年比94.1%と近年の減少傾向が止まらなかったが、シングルが前年比2割増と大健闘した上、音楽Blu-ray Discが前年比2倍近い伸びを示したことが、音楽ソフト市場全体をプラスへと導く要因となった。

（なお、前年2011年は東日本大震災という重大な出来事があり、1ヵ月余りは大手メーカーの新譜リリースが延期されるなどの対応がなされたが、1～6月の2011年上半期全体で見た場合の音楽市場規模に対する震災の影響は、結果的には限定的なものに留まっている。）

アルバムは総売上額が851.6億円（売上枚数は2,871.2万枚）で、対前年同期比94.1%。2007年から6年連続での対前年上半期比減とアルバム市場の縮小傾向が続いている。新作のヒットだけでなく旧譜などカタログ商品のロングテール売上も重要と言われるアルバム市場だが、毎週の週間ランキング100位圏内の上位層と100位圏外の下位層とに分けて見た場合でも、上位層・下位層とも似たような前年比減の度合いとなっている。このことから、新譜・旧譜に限らず、アルバムという形態を購入するという消費行動自体が全体的に少なくなっている可

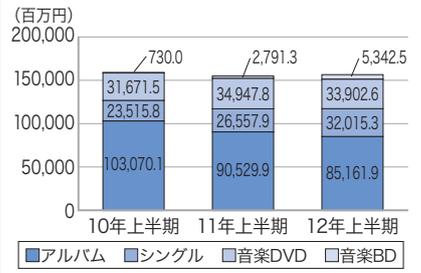
能性が示唆される。

ただし、2009年、2010年、2011年の各上半期アルバム売上額は対前年比80%台だったのが、今年は94.1%と下げ幅が縮まっており、下げ止まりの兆しもうかがえる。

一方、シングルは総売上額は320.2億円（売上枚数は

2,373.9万枚）。昨年2011年上半期は、売上額265.6億円、対前年比112.9%と一気に1割以上の前年比増に転じた年だった。今年で2年連続の上半期前年比増だが、今年にはさらに伸び率をアップさせ、対前年比120.5%と2割増の活況となった。上半期のシングル売上額が300億円を超えたのは2005年以来7年ぶりで、市場全体規模推計の調査を開始した2004年以降では今年が上半期シングル売上の最高額となった。

【過去3年の上半期音楽ソフト市場規模推移】



【2012年上半期 音楽ソフト 盤種別売上表】

盤種	売上金額(百万円)	構成比	前年比
シングル	32,015.3	20.5%	120.5%
アルバム	85,161.9	54.4%	94.1%
オーディオ計	117,177.2	74.9%	100.1%
音楽DVD	33,902.6	21.7%	97.0%
音楽BD	5,342.5	3.4%	191.4%
音楽DVD・音楽BD計	39,245.1	25.1%	104.0%
合計	156,422.3	100.0%	101.0%

2. 背景 ～シングル前年比増の要因と、音楽ブルーレイの普及加速～

- シングル市場で目立つ女性アイドルの活躍
- AKB48とその関連アーティストはシングル売上額の1/4以上に
- 音楽ブルーレイが前年比2倍近くに伸び、音楽DVDとの合計額では過去最高の392.5億円に

今年の上半期音楽ソフト市場をけん引することとなったシングル売上だが、市場の盛り上げ役としては、AKB

【シングル売上額上位作品(5億円以上)】

売上額(百万円)	タイトル	アーティスト
2011年上半期(2010/12/27～2011/6/26)		
2,054.4	Everyday、カチューシャ	AKB48
1,440.8	桜の木になろう	AKB48
875.6	Lotus	嵐
2012年上半期(2012/1/2～2012/7/1)		
2,370.1	真夏のSounds good!	AKB48
1,838.6	GIVE ME FIVE!	AKB48
883.8	ワイルド アット ハート	嵐
802.4	Face Down	嵐
768.2	片想いFinally	SKE48
755.7	Your Eyes	嵐
710.8	アイシテラブル!	SKE48
528.9	ナギイチ	NMB48

※売上額はランキング期間内のみを集計

48をはじめとする女性アイドルの活躍が目立つ。ランクイン期間内に5億円以上を売り上げたシングルは、2011年上半期ではAKB48の2作と嵐1作の計3作品だったが、今年の上半期では計8作品にのぼり、AKB48の2作と嵐の3作に加え、

SKE48が2作、NMB48が1作と、AKB48だけでなくその姉妹ユニット等が躍進している。その結果、AKB48とその関連アーティストのランクイン期間内売上額だけで、シングル市場全体の1/4以上を占めることとなった。また、AKB48の公式ライバルである乃木坂46や、ももいろクローバーZなど、新たな女性アイドルのヒットも目立った。

音楽の映像ソフト市場も前年比増に貢献している。音楽DVDと音楽Blu-ray Discを合わせた音楽の映像ソフト全体の総売上額は392.5億円。対前年同期比は104.0%で、3年連続の前年比増に。その結果、音楽DVD・音楽BD合計額も、過去最高額だった昨年上半期をさらに更新した。

内訳では、市場の成長期にある音楽Blu-ray Discメデイ

アが、対前年比191.4%と2倍近くに伸び53.4億円（売上枚数は77.2万枚）を売り上げた。ランクイン期間内の売上が1億円を超えた作品数を見ても、前年上半期の4作から、今年は11作にまで増加し、この新しいメディアが音楽市場で着実に浸透し始めていることがうかがえる。上半期の音楽Blu-ray Disc売上トップ作品はB'z『B'z LIVE-GYM 2011-C'mon-』だが、この作品が5月にDVDとBD

とで同価格・同時発売された際は、発売初週の売上は、DVDの5.3万枚よりもBDの方が5.6万枚と上回っている。

一方、Blu-ray Discへの市場の移行が進みつつある音楽DVDだが、対前年比97.0%となる339.0億円（売上枚数は588.9万枚）と少ない減少幅に踏み止まったため、音楽Blu-ray Discとの合計額としては前年比4%増の成果を上げることになった形だ。

3. ジャンル別

- 「J-POP」が2年連続の上半期前年比増
- 「洋楽」の減少傾向が止まらず

音楽ソフトを大きく5つのジャンル別に見ると、市場のメインである「J-POP」が対前年同期比105.5%と、昨年に引き続き2年連続の上半期前年比増となった。他の4ジャンルは昨年上半期はすべて前年比減だったが、今年は「演歌・歌謡」が前年比100.4%と前年実績を維持し、「ジャズ・クラシック他」「アニメ・サントラ他」も前年比減とはしながらも減少

幅は昨年より抑えられている。一方、「洋楽」は今年上半期は対前年同期比79.1%と、昨年（84.2%）や一昨年（93.1%）の上半期よりもさらに減少幅が広がった。

【2012年上半期 音楽ソフト ジャンル別売上表】

	売上額 構成比	売上額 前年同期比
J-POP	77.9%	105.5%
演歌・歌謡	2.9%	100.4%
洋楽	8.4%	79.1%
ジャズ・クラシック他	3.8%	89.8%
アニメ・サントラ他	7.0%	94.4%
合計	100.0%	101.0%

4. メーカー別

- エイベックスが4年ぶりの上半期トップに
- 上位10社のうち前年比増はエイベックス、トイズファクトリー、EMIの3社

メーカー（発売元）別では、エイベックス・グループ・ホールディングス社が、2008年以来4年ぶりに上半期のトップシェアメーカーとなった。対前年同期比も125.7%と売上増になっている。EXILEの1月発売のアルバムや3月発売のDVDがそれぞれ20億円以上を売上げたのを筆頭に、Kis-My-Ft2やSKE48、指原莉乃、BIGBANG、Acid Black Cherryなどの作品が新たにブレイクしたのが貢献した。

また、5月に同時発売されたMr.Childrenのアルバム2作品がともにミリオンヒットとなったのを受けて、トイズファクトリー社が昨年上半期12位から4位へと上昇、対前

年同期比も3倍超えとなっている。

このほか、上位10社の中では、7位のEMIミュージック・ジャパン社も前年同期比120.9%と売上増となっている。同社では、昨年からのロングヒットとなっている由紀さおり&ピンク・マルティーニを筆頭に、T-ARA、東京事変などが売上

【2012年上半期 音楽ソフト メーカー（発売元）別売上額上位5社】

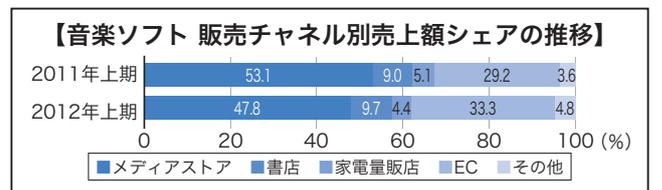
順位	メーカー（発売元）	売上額 占有率	売上額 前年同期比
1	エイベックス・グループ・ホールディングス	15.9%	125.7%
2	ソニー・ミュージックエンタテインメント	14.3%	87.4%
3	ユニバーサル ミュージック	9.9%	88.8%
4	トイズファクトリー	6.2%	345.6%
5	キングレコード	6.2%	92.0%

5. 販売チャネル別

- ECのシェア拡大が続く

音楽ソフトの売上額を販売チャネル別に大きく5つに分けて推移を見ると、CDショップを中心とする「メディアストア」が調査開始した2009年以来初めて半期シェアで半数を割り、47.8%にシェアが減少した。一方、インターネット通販などの「EC」が、2010年上半期の26.0%から、2011年上半期29.2%、今年2012年上半期33.3%と着実

にシェアを伸ばしている。



●本レポートのデータについて

本レポートにおける市場規模等の各種データは、オリコンの各週間ランキング(シングル TOP200、国内盤アルバム TOP300、DVD TOP300、Blu-ray Disc TOP100)のデータを基本データとし、ランキング圏外のデータも勘案して、市場全体の売上枚数を推計したものと(特販商品、輸入商品等は含まず)。売上金額は売上枚数に定価・希望小売価格(税込)を乗じて算出。例外についてはデータごとに表記。

音楽・映像関連の各週間ランキングは音楽・映像ソフトを販売している全国約28,380店の調査協力店(CDショップ、レンタルや書籍などを扱う複合店、家電量販店、コンビニエンスストア、ジャンル専門店、インターネット通販)の店頭、イベント会場等での販売実績をもとに、全国の週間推定売上枚数を算出したもの。週間ランキングは毎週月曜から日曜までを集計対象としている。(2012年7月現在)

●“2012 年上半期”の集計対象期間： 2012 年1 月2 日～2012 年7 月1 日

より詳しいデータは  をご覧ください
<http://biz.oricon.co.jp/>

音楽・映像・書籍、各業界の最新マーケット動向から詳細なランキングデータ、充実した検索機能を網羅！エンターテインメント業界に携わる方には必須の法人向けマーケティングデータベースサービスです。

市場動向の把握やトレンド分析、プロモーション戦略の立案など、現場の日常ツールとしてだけでなく、経営層の営業戦略ツールとしてもご利用いただいております。各種カスタマイズデータも承っておりますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

info-biz@oricon.jp

「ORICON エンタメ・マーケット白書2011」好評発売中！

2011年の音楽・映像・書籍、3カテゴリの詳細な市場動向データ、各種ランキング、ヒットピックスを集約した、エンタメ・ビジネス・マーケティングの必携ツール。全国の書店、インターネット通販などで販売しております。詳しくは下記をご覧ください。

<http://biz.oricon.co.jp/hakusho/>

発行所

オリコン・リサーチ株式会社

〒106-0032 東京都港区六本木6-8-10STEP 六本木

TEL 03-6381-7959 FAX 03-5772-8600